

穂積遺跡第 14 次・15 次発掘調査報告

—豊中市南部における縄文海進期の基礎的研究—

豊中市服部西町の地下数メートルはかつて「縄文の海」の世界だった。
しかもそこには、サメの歯や、現代の大阪湾ではほとんど見られなくなった貝などの化石
などが眠っていたのです。

本書は、なぜ服部周辺にまで海が入り込んできたのか、そして縄文時代から現代に至る約
6000 年間の人間と自然とのかかわり合い、さらには大好評だった現地説明会の様子、など従
来の発掘調査にない独特の視点をも盛り込んだ貴重な調査報告書です。



Archaeological Reports of the Hazumi Site
In Toyonaka City,
Osaka, Japan, March, 1999



豊中市文化財調査報告 第46集
穂積遺跡第14次・15次
発掘調査報告

—豊中市南部における縄文海進期の基礎的研究—

1999
豊中市教育委員会



1999年3月31日発行
価格 2,600円
本文約 200 ページ
巻首カラー図版 4 ページ